

(帝塚山玉出教室) ご利用の皆様、令和2年度のご利用及び事業所評価にご協力いただきありがとうございました。多くのご回答をいただくことができました。皆様方からの評価をもとに現状の評価をし、改善策を立てました。より良い支援のため、職員一同今後一層の努力をしていきます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。いつでも忌憚なくご意見をお寄せいただけましたら幸いです。

令和 3年 2月末日 (帝塚山玉出教室) 職員一同

アンケート回収率 職員100%、保護者75%

【基準】 達成 (80%~100%が「はい」と回答) ほぼ達成 (60%~79%) 未達成 (60%未満)

(帝塚山玉出) 事業所評価 チェック項目		全体評価	保護者	保護者からいただいたご意見	改善策
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。(保護者評価項目1)	達成	達成	・情報があるのかないのかわかりづらい	・活動によって、2階プレールームを活用しています。 ・改善策としてカウンター側を勉強の空間として使用する、時間で使用する場所を区切るなど児童を分散する空間と時間の工夫をします。 ・車椅子対応の教室にはなっていないため車いすの利用者が来所した場合、職員ができる限り対応しています。
	2 職員の配置数は適切であるか。(保護者評価項目2)	達成	達成	・配慮に欠ける事が増えているように思う時がある	
	3 事業所の設備等について、障がい特性に応じ、バリアフリー化の配慮や情報伝達への配慮が適切になされているか。(保護者評価項目3)	ほぼ達成	ほぼ達成	・ブログの更新がなくわからない	
	4 生活空間は清潔で子供に分かりやすく構造化された環境になっているか。	ほぼ達成			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	達成			・外部評価の予定はコロナのことがあり未定ですが、評価を受け、改善して行く予定です。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	達成			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか(予定はあるか)。	達成			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか(予定はあるか)。	ほぼ達成			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	ほぼ達成			
	10 職員は子どもの支援について意義を感じ工夫し楽しむことができているか。(保護者評価項目14)	達成	達成		
適切な支援の提供	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用し、アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか。(保護者評価項目4)	ほぼ達成	達成		・1年に1度は保護者面談を行い、アセスメントし、計画を随時変更して、課題が保護者さまや児童のニーズに合うよう支援計画を作成していきます。 ・子ども・保護者様のニーズや課題を職員間で話し合い、分析して普段の支援に生かしていきます。 ・可能なかぎり平日・休日・長期休暇時の課題に対応して、支援を行ってまいります。
	12 個別支援計画書にはガイドライン総則の基本活動や「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示された内容から必要項目が適切に選択され、子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか。	ほぼ達成			・児童が来所する前に、職員間で当日の活動、課題の説明をして、情報共有を行っています。 ・支援記録時に個別支援に乗った支援ができたか記録を行っています。その記録は次の日の課題の支援に役立てています。
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか。(保護者評価項目6)	達成			
	14 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	ほぼ達成			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	ほぼ達成			
	16 支援終了後には、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を職員間で共有しているか。	達成			
	17 個別支援計画に沿った支援を行っているか。(保護者評価項目5)	ほぼ達成	達成		
	18 日々の支援に対し正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	ほぼ達成			
	19 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	ほぼ達成			
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	達成			・卒業を迎えた児童が少ないため移行支援経験はほぼありません。相談支援を使っている児童の場合	

関係機関や保護者との連携	21	学校等関係機関との情報共有(年間計画・行事・予定等の交換、子どもの下校時の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	達成			は相談支援事業所に情報を提供しています。今後は福祉サービス事業所等にも情報を提供していきたいと考えています。
	22	(医療的なケアが必要な子供を受け入れる場合) 子どもの主治医、地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	ほぼ達成			・単独で児童発達支援事業所とは連携していません。支援会議の場で一緒になることもあり、そのときにアドバイスを受け、支援を行っています。
	23	移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所、学校、特別支援学校等の間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか。	ほぼ達成			・ココステージでも専門職員がおり、支援のアドバイスを受けています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	未達成			・専門機関の研修は情報収集し、積極的に受けに行っております。
	25	他の児童発達支援センター、児童発達支援事業所、発達障がい支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	未達成			・地域の協議会や子ども会議等にはタイミングが合わず参加していません。今後は積極的に参加していきたいと考えています。
	26	放課後等児童クラブや児童館との交流、地域の公共施設の利用等、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	ほぼ達成			・ペアレントトレーニングのニーズがないため、行っていません。
	27	(地域自立支援)協議会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	未達成			保護者からの要請があれば行く方向です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。(保護者評価項目8)	達成	達成		・保護者会のニーズがありませんが、活動で保護者様を招くことはあります。今後も機会があれば保護者を活動に招待したいと思っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)を行っているか。	未達成			・ブログの更新だけではなく、
	30	ガイドラインや個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画書の同意を得ているか。(保護者評価項目7)	ほぼ達成	達成		1ヶ月にどんな活動をしているのか「手塚山玉出通信」などのお便りを保護者に配布し、活動の目的や普段の過ごし方をお知らせしていく事を計画しています。
	31	保護者の苦情、相談や要望に対して適切な面談や助言等の支援を行っているか。(保護者評価項目9)	達成	ほぼ達成		・地域住民を招くことはしていません。今後も予定はないですが、地域の遊び場やお祭りには極力参加しております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりする等により、保護者同士の連携を支援しているか。	未達成			
	33	定期的に連絡帳や会報、ホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。(保護者評価項目11)	ほぼ達成	ほぼ達成		
	34	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。(保護者評価項目12)	達成	達成		
35	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(保護者評価項目10)	達成	ほぼ達成	細かい説明がないことが多い		
36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	未達成				
非常時の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。(保護者評価項目13)	ほぼ達成	ほぼ達成	・感染症対策がどうなっているかの説明がない ・アレルギー等の質問がない	・会社から保護者様に向けての感染症対策の配布物を配り直しました。また事務所に会社の感染症対策の配布物を貼って職員間の確認も行っております。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	ほぼ達成			・虐待という行為はどういうものか、ミーティングで日ごろ職員に意識を持って行動してもらっています。虐待の研修も計画しており、職員間で注意し合える関係性を大切にしています。
	39	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	達成			・食物アレルギーに関しては契約当初保護者様からの申し出を受け、対応を行っています。都度お申し出があれば、対応させていただいております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	ほぼ達成			・ヒヤリハットは記録を残し、起こった当日に職員間のミーティングを行い、情報共有と改善策を考えて再発防止に努めています。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、主治医の指示に基づく対応がされているか。	ほぼ達成			
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか。	達成			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	ほぼ達成			